

## 中間支援活動助成(基本)事業 実績報告

|     |                     |      |             |              |
|-----|---------------------|------|-------------|--------------|
| 団体名 | (認定)ソーシャルデザインセンター淡路 | 代表者名 | (職名)<br>理事長 | (氏名)<br>木田 薫 |
| 事業名 | SODA地域応援事業          |      |             |              |

### < 事業実施実績 >

|       | 相談業務<br>延べ回数/団体数 | ネットワークの構築<br>・ 情報提供<br>件数 | 人材育成<br>(講座開設等)<br>延べ参加人数/回数 | 書類作成指導<br>件数 | その他<br>(調査研究等)<br>件数 |
|-------|------------------|---------------------------|------------------------------|--------------|----------------------|
| R5 実績 | 20回/15件          | 21件                       | 93人/2回                       | 1件           | 2件                   |
| R6 計画 | 10回/5件           | 12件                       | 250人/4回                      | 1件           | 1件                   |
| R6 実績 | 21回/11件          | 12件                       | 287人/3回                      | 1件           | 2件                   |

### < 効果と成果 >

SODAが主体となって3年間継続してきた「高校生フォーラム」は、今年度から島内の高校が主体となって開催することになりSODAが提案、実行してきた事業が認められ地域で定着する仕組みができた。

次に地域応援セミナーでは終末医療の課題を取り上げ著名なホスピス医を招いて講演会を企画したことで島内の医師会や看護師会、訪問看護ステーション連絡協議会など医療関係のつながりがより深まった。

さらに地域の歴史を取り上げ、地域を学ぶ機会をいただいたと教育に関わる方や移住してこられた方々も参加されたり、ケーブルTVも市民に広く知ってもらう機会と撮影に来られるなど好評で次年度に継続することが決まった。

次に「空き家セミナー」は、昨年度に引き続き市の空き家担当課のみならず、開催地となった地域の協議会などの参画も得て、企画の段階から地域の方々や行政も一緒になって課題を共有し、その解決策を考えていく事業となったことは、地域の中間支援としての大きな役割を果たしている。

さらに3月から開催される「花みどりフェア」への提案事業として「人と人をつなぎ社会的孤立を創らない。」をテーマに掲げ以前から取り組んできた「新聞エコバッグ」づくりの輪を広げた。この事業に賛同する団体が島内に広がり大きな成果を上げている。また指導してくださった神戸市内のNPOや神戸市立特別支援学校(5校)からもエコバッグの提供を受け連携することができた。

### < 今後の展望 >

中間支援の役割にはNPOの立ち上げ支援もある。けれど中山間地域では人口も少なく法人の立ち上げを考える人は少ない。何より高齢化が進んでいる田舎ではお互いにどうやって支え合っていくことができるかなど、自助、共助の在り方が問われている。

今年度SODAは、3月20日から始まる「花みどりフェア」を通して「新聞エコバッグ」事業を島内で広げていこうと取り組んでいる。この事業が高齢者のニーズに合致して高齢者やデイサービスの支援者の方々から利用者さんが「とっても楽しい。私は、誰かの役に立つボランティアがやりたかった。」などの感想を多くいただいている。さらに理学療法士さんからも作業療法にも使えるのではないかという意見もある。

こうした活動が地域の中での仲間づくりや一人暮らしの方が誰かと関わるようになるきっかけとなって、自然な形で人と人とのつながりが生まれ、参加している方にとっては一緒に作る喜びと自己肯定感につながっているようである。

またこの事業の中心になってくれているのが不登校の親たちで、どうしても子どもと一緒にひきこもりがちになってしまう母親が活動の中で「ありがとう」と言ってもらえるのがうれしいと話していた。

また、看護学校の学生や高校生たちもこうした活動に参加し、今後は高齢者施設などで指導に当たってほしいと思っている。エコバッグのような仕掛けづくりも中間支援の役割といえるかもしれない。

< 収支決算書 >

(収入)

| 項 目       | 金 額 (円)       |
|-----------|---------------|
| 中間支援活動助成金 | 5 0 0 , 0 0 0 |
| SODA寄付金等  | 2 0 0 , 7 5 2 |
| 合 計       | 7 0 0 , 7 5 2 |

(支出)

| 区分               | 項 目          | 金 額 (円)       | 左のうち<br>助成対象金額 (円) |
|------------------|--------------|---------------|--------------------|
| 直<br>接<br>経<br>費 | 謝金           | 1 5 0 , 0 0 0 | 1 5 0 , 0 0 0      |
|                  | 賃借料          | 8 8 , 0 0 0   | 1 5 , 4 5 8        |
|                  | 委託費          | 2 2 8 , 0 0 0 | 1 0 0 , 0 0 0      |
|                  | その他 (旅費交通費等) | 1 7 4 , 6 4 7 | 1 7 4 , 6 4 7      |
|                  | 小 計          | 6 4 0 , 6 4 7 | 4 4 0 , 1 0 5      |
| 間接経費 (一般管理費)     |              | 6 0 , 1 0 5   | 5 9 , 8 9 5        |
| 合 計              |              | 7 0 0 , 7 5 2 | 5 0 0 , 0 0 0      |